学校法人微妙学園みみょう幼稚園　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

みみょう幼稚園だより

令和４年１月号　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊http://mimyo.org/youchien/

新年を迎えると同時に、一週間も始業式を延期することになり、皆様には、ご心配、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ありませんでした。また、この間の皆様のご協力を、心より感謝を申し上げます。やっと再開できたとは言うものの、広島では、感染者数が過去最多になるなど昨年以上に気の抜けない日々が続いています。

それでも、子どもたちにとって、楽しく豊かな一年にできますよう、幼稚園とご家庭とで、しっかりと手を携えながら進んでいくことができたらと心も新たに、三学期をスタートして参ります。

12.20 避難訓練で、第二避難場所（段原南集会所前公園）まで行きました。上手に移動できました。

毎年、三学期の始業式には、「一年の計は元旦にあり」というお話をしています。何事もはじめが肝心、具体的な目標を立てて、物事をスタートさせてほしいという内容です。小さい人たちにとって「目標」というのは、まだ少し難しいので、楽しい、嬉しい、大すき、などをたくさん見つけて欲しいとお話をしました。友だちといっしょにたくさんの経験をしながら、心も身体も、大きく大きく育ってほしいと思います。楽しい、嬉しい、大すきは、次の行動や知恵を働かせる原動力となり、集中力や粘り強さなどにつながっていきます。進級、進学までの 3 か月、目を見張るほどの成長を見せてくれる子どもたちの一瞬一瞬を決して見逃すことのないように、大切に過ごしていきましょう。まずは、2 月の「第96回生活発表会」を子どもたちといっしょにつくっていきます。年長さんにとっては、大事な卒業記念発表会です。日程や会場についての変更の可能性も大きい状況ですが、十分な工夫や努力をし、素晴らしい日にしていきたいと思います。昨年度同様に説明等、きっずノートを通じて行うこととなりますが、保護者の皆さんにとっても、楽しい思い出の発表会にできるように、子どもたち、先生たちも一丸となって準備を進めています。

本年も、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

季節の行事でつながる輪

昔から、脈々と伝承されてきた季節の行事は、美しい文化の継承だけでなく、人の輪をつなぎ、深める素晴らしい機会となっています。おかげ様で、12月には、例年に近いかたちで「お餅つき」を実施することができました。蒸しあがるもち米の香りや、温かいお餅の感触を子どもたちと一緒にしっかりと味わうことができました。お父さんの力強い杵打も、楽しそうにおもちを丸める年長幹事さんたちのきらきらした笑顔も本当にすてきでした。ありがとうございました。翌日には、「海苔巻きにした。」「きなこもちにしたよ。」と報告をしてくれる子どもたちのニコニコ笑顔もたくさん見ることが出来ました。

また、12 月 21 日には、サンタさんが、全ての保育室を訪れてくれました。子どもたちの笑顔と歓声が、園舎いっぱいにあふれる日となりました。「生活発表会」「豆まき」「お茶会（年長）」と、三学期も様ざまな季節の行事が控えています。温かいつながりの輪が、さらに大きく広がっていきますように、職員一同、力を合わせて、頑張って参ります。

園長　三上　玲子